

## 第5章 本科卒業生に対する社会的評価

### 5.1 はじめに

本章では、企業に対するアンケート結果と、平成14年度に行った前回調査との比較から企業（社会）の本科卒業生に対する社会的評価に関する考察を行った。

アンケートは、960社に送付し、268社（27.9%）（前回165社（26.4%））から回答が得られた。回答のあった企業の採用実績は「本校本科卒業生50%（前回42%）」、「他高専本科卒業生66%（前回44%）」であり、「他高専本科卒業生」の採用実績のある企業の増加が目立つ。（【企業質問1-1】【企業質問1-3】）

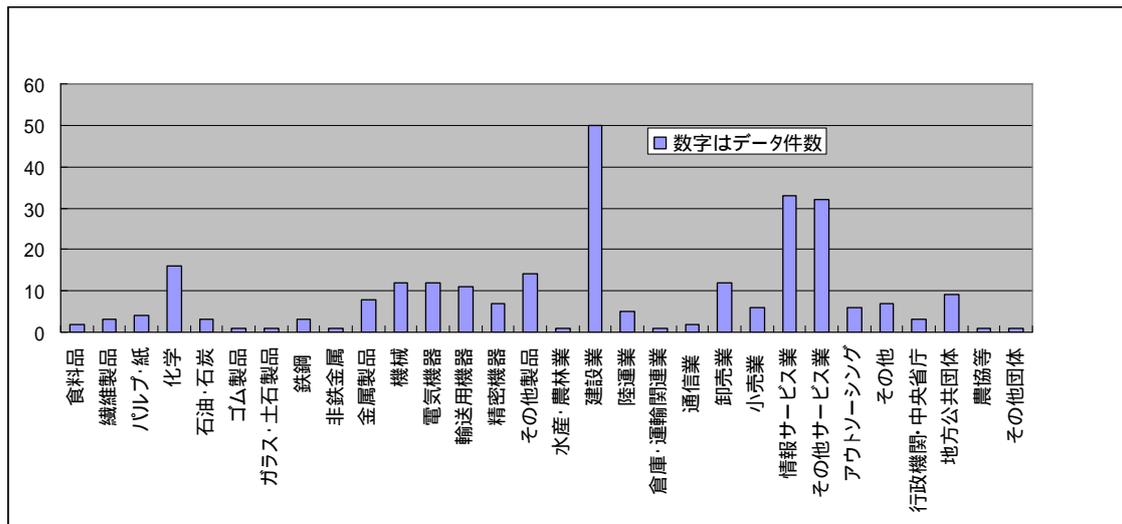


図5-1 アンケート回答企業の業種別企業数

### 5.2 本科卒業生に対する社会的評価

#### (1) 前回との比較

アンケート結果全体を前回と比較すると「評価が良くなっている」、「企業による評価のバラツキが大きくなっている」と言える。アンケートの自由記述に求人関係の書き込みが多くなっており、評価が良くなったことを素直に受けとめて良いのか気がかりである。

#### (2) 中途退職者について

##### 【企業質問2-1】

今回のアンケートで新設した設問である。徳山高専本科卒業生の採用経験のある企業数より12件多い回答があり、退職者数0のデータはこの12件を差し引いて考えなければならぬ。その結果、37%の企業で中途退職者が発生していることになる。

#### (3) 勤務評価について

##### 【企業質問3-1】

徳山高専本科卒業生の勤務成績を「非常に満足」または「満足」と答えた企業は72%（前回62%）あり、多くの企業は高く評価している。一方で、「非常に不満」と答えた企業は4%（前回9%）であり減少している。

#### (4) 高専制度について

##### 【企業質問4】

「本校の複合教育」についての評価では、本校卒業生を採用した76%（前回82%）の企業が「適切」と評価しており、有効性が認識されている。前回調査と比較すると「適切」の割合が減少しているが、「より多くの分野を複合」、「専門に特化」の両方が増加しており、ニーズが多様化した結果と言える。

##### 【企業質問5-1】

「本校の教育目標」に見合う実力がついてきているかの質問を本校卒業生を採用した企業にした。6項目中、5項目については4段階の3,4（満足）に評価が集中した。5項目については十分と認められたと言える。また、前回調査との比較では評価が割れてきているが、全般に2,1（不満）より4の増加が目立つ。しかし、「情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につける」だけは、1,2が倍増している。また、他の項目と比較しても4の割合が低い。【企業質問5-3】で重要度が低いとされているが、高専卒業生らしさに関連の強い項目だけに気になるところである。

残る1項目は「国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養う」という項目である。31%（前回38%）が2,1を選択しており他項目と比較して不満の割合が特に高い。また、4の割合も14%（前回3%）で他の項目と比較して満足の割合が低い。更に、卒業生アンケート（質問4-2）でも、不十分であると自己評価結果であり、結果が一致している。

前回調査との比較では改善が見られるが、（質問5-3）で重要度が高くなりつつあることが明白であり、更なる改善を要求された結果になっている。

#### (5) 大学生との比較について

##### 【企業質問7-1】

高専本科卒業生全般について「大学生と比較した場合すぐれている点を選ぶ」質問で回答の多かった項目は、「誠実さ48%（前回58%）」、「専門知識40%（前回46%）」、「行動力27%（36%）」、「協調性16%（前回40%）」、「情報処理技術14%（前回28%）」であった。

若年から実践的な専門教育を受け、20歳で社会に出る高専生の特徴が現れた結果と考えられる。しかし、前回調査と比較すると全体に数値が低下する傾向にあり、高専卒業生の長所が目立たなくなりつつある。

また、「協調性」の項目が、前回と比較して半減していることも気がかりである。

#### (6) 今後の採用予定について

##### 【企業質問11-1】

高専本科卒業生全般について「今後の採用」を質問した。「採用したい71%（前回37%）」、「現時点では分からない28%（前回61%）」であった。求人難の影響も考えられるが、前回より大幅な改善が見られる。

##### 【企業質問11-3】

「採用したい場合の職種」については、「設計43%（前回29%）」、「システムエンジニア28%（前回23%）」、「施工管理28%（前回34%）」、「研究開発22%（前回21%）」、「生産管理18%（前回26%）」の順であった。前回とかなり変化している。

### 5.3 本章のまとめ

企業に対するアンケート結果から、「本科卒業生に対する社会的評価」に関する考察を行った。その結果、卒業生は多くの企業で高い評価を受けていること、本校の制度・教育目標については概ね適切であり、それに見合う実力がついていると評価されていることが分かった。また、前回調査との比較でも、ほとんどの項目で評価が高くなっている。

しかし、本校の教育目標の一つの項目である「国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養う」については前回同様に不十分との評価されている。一方で「この項目は重要である」と、教育目標に対する評価が変化しており、改善する必要がより高くなっている。

「大学生と比較して優れている点」では、前回調査で突出していた項目のポイントが低くなった。高専生の長所が目立たなくなりつつあることが窺われる。高専の将来像を考える上で注意すべき点である。

#### その他

- ・ 推奨資格、TOEIC、情報処理技術について

【企業質問8】【企業質問9】【企業質問10】

本科、専攻科の区別をしないでアンケートしているので4章にまとめる。

(担当：重村)